

国際漁業学会（JIFRS）短信

<https://www.jifrs.info/>

事務局 E-mail: jifrs.kaiyodai@gmail.com

郵便振替番号：00100-6-26448 国際漁業学会

振込：ゆうちょ銀行 店番 019 当座 店名〇一九店 口座番号 0026448

2024 年度第 1 号

2024 年 7 月 18 日刊

目次

1. 理事あいさつ「国際協力と学術研究の橋渡し」	越後学
2. 2024 年度 JIFRS 大会（横浜大会）のご案内	神山龍太郎・事務局
3. 2024 年度 JIFRS 大会シンポジウムのテーマ	宮田勉
4. 2025 年度 JIFRS 大会シンポジウム企画募集	松井隆宏
5. 研究会のご案内（研究企画委員会主催）	宮田勉
6. 学会賞（国内賞）候補者の推薦依頼	川辺みどり
7. 事務局だより	事務局

1. 理事あいさつ「国際協力と学術研究の橋渡し」

越後学（国際漁業学会理事・インテムコンサルティング）

今期初めて理事を拝命いたしました、インテムコンサルティング株式会社の越後と申します。なかなかお役には立てていませんが、研究企画委員会、出版委員会にも参加させて頂いております。今後どうぞよろしく願いいたします。

私は国際協力機構（JICA）や海外漁業協力財団（OFCF）の事業を受託する形で、開発途上国の水産開発の現場で技術協力の仕事に携わっています。非常にマイナーな職種ですので多くの皆さまには馴染みのないものかと思いますが、戦後日本で近代的な国際協力が開始されて以降一貫して世界中の開発途上国に対する水産分野の技術協力が進められてきたのです。私の業務経験としては大学卒業直後の 1989 年に青年海外協力隊員としてマレーシアに赴任して以来、キリバス、マーシャル諸島、セーシェル、モルディブ、セネガル、エリトリアなど、10 カ国以上で技術協力に関わって参りました。これでも業界ではまだまだ少ない方です。

JIFRS に参加するきっかけになったのは現会長の婁先生からのお誘いでしたが、そもそも私が社会人枠の大学院生として東京水産大学大学院の小岩・婁研究室に入ったことが原点となります。この時私はマーシャル諸島への長期派遣が決まっており、大学院で学んだことを現場に活かし、同時に現場の経験について論文発表などを通じて一般にフィードバックしたいという想いを強くしていました。私達の仕事が税金で賄われている以上、私達の経験は（JICA や OFCF 等の顧客に対してだけでなく）広く一般に還元されるべきと考えたからです。また、言わずもがな学

術的な視点で現場の知見・経験を整理し発表することは自らが技術者として成長することを助けてくれます。そのような側面から見て、JIFRSは我々のような現場技術者に発表の機会を与えてくれる貴重な存在と言えます。

日々の忙しさを言い訳に研究発表が進んでいないことはお恥ずかしい限りなのですが、妻先生の部屋の扉を叩いてから早22年（もうそんなに！？）、いつの間にか私の社会での役割も変わりつつあり後進の育成が大きな課題となってきました。後輩達のスキルアップと社会貢献を支援するためにも、今後はJIFRSの発表機会を積極的に活用させて頂きたいと考えています。このことは、国際的な視点で漁業をとりまく諸問題の解決に取り組もうとする本学会にとっても良い刺激になるのではないかと思考する次第です。また、昨年の妻先生の会長就任のご挨拶にもありました通り、JIFRSは業界人を含む研究に関心を持つあらゆる人々の学术交流・情報交換・ネットワーク作り・親睦の場であるという理念にも合致するのではないのでしょうか。

とは言え、私自身も研究者としては若輩者であり、まだまだ努力と研鑽が必要な身です。理事の立場は身に余る光栄ですが、その名に恥じないよう委員の職務も含め精一杯努力していきたいと思えます。今後とも引き続きご指導ご鞭撻を頂きますようよろしくお願いいたします。

2. 2024年度JIFRS大会（横浜大会）のご案内

神山龍太郎（水研機構）・事務局

2024年度大会は下記の通り国立研究開発法人水産研究・教育機構にて行うことになりました。また、本年度大会は水産研究・教育機構と本学会との共催となっております。実施方式は対面です。多くの会員、関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

会 場：国立研究開発法人水産研究・教育機構 横浜庁舎

〒236-8648 神奈川県横浜市金沢区福浦 2-12-4

日 時：2024年（令和6年）8月24日（土）～25日（日）

日 程：8月24日 午前：各種委員会・理事会

午後：シンポジウム

（漁業・養殖業の成長産業化と経営イノベーションに関するテーマ）

夜：懇親会

8月25日 午前：個別報告（申し込み数が多ければ午後も）

午後：総会等

参加費：一般会員 2,000円

一般非会員 3,000円

ただし、漁業関係者や学生は無料

懇親会費：一般 5,000円、学生 3,000円

※懇親会へ参加される方は、7月26日までに下記リンクからお申し込みください。

懇親会参加申し込みフォーム：<https://forms.gle/zv2qWSJMUJKx4uh97>

◆報告予定者に向けた連絡事項

・個別報告について

個別報告は1報告あたり25分（質疑含む）の予定です。個別報告を希望する会員は、7月26日（金）までに報告者の氏名、所属、および報告タイトル等を、下記のグーグルフォームでお送りください。

個別報告申し込みフォーム：<https://forms.gle/KSEF7AxHtNHnJaQE8>

なお、発表者は会員に限られますので、未入会の方は学会HPを確認し、入会手続きを行ってください。連名者は非会員でも問題ありません。

また、7月31日までに報告要旨（40字×25行以内）を、8月16日までにパワーポイント等による報告資料（当日までに改変可、事前に座長に渡します）を、それぞれ下記リンクからアップロードしてください。

個別報告要旨提出フォーム：<https://forms.gle/7jNQuHRLpXjB8Aoi6>

パワーポイント提出フォーム：<https://forms.gle/L7VnbdFJN16Rt5Pi9>

個別報告の申し込みについてご不明な点がございましたら、メールで事務局までご連絡ください。

・報告論文について

個別報告の報告者におかれましては、大会終了後に報告内容をベースとする10枚程度までのコンパクトな和文論文を「報告論文」として和文誌『国際漁業研究』に投稿することができます。報告論文の査読手続きは一般投稿論文と同じで（ただし、審査は原則として2回までとする）、掲載料は1万円（10枚以下の場合）となっています。報告予定者におかれましては、「報告論文」への奮っての投稿をお願いします。

2024年度の報告論文投稿受付期間は大会終了後から2024年9月13日までです。投稿規定に準拠した論文原稿と投稿票を、編集委員長（若松宏樹：hwakamatsu@affrc.go.jp）、編集幹事（神山龍太郎：kamiyama_ryutaro30@fra.go.jp）、大会特集担当（浪川珠乃：tnam001@kaiyodai.ac.jp）の3名を宛先としてご提出ください。個別報告時と内容が大きく異なる原稿や、分量が規定を大幅に上回る原稿は受付できません。

審査のスケジュールは以下の予定となっております。

- ・報告論文〆切 9月13日
- ・第1回審査結果の返却予定 11月中旬
- ・第2回審査結果の返却予定
 - ・第1回の判定が「B：修正が必要（編集委員による確認）」の場合、1月下旬
 - ・第1回の判定が「C：大幅な修正が必要（再査読）」の場合、2月中旬

※上記のスケジュールは査読や修正が期限通りに実施された場合の見込みであり、この期限通りに審査が進むことを保証するものではありません。

※報告要旨集は配布しませんので、要旨等は、各自で事前にホームページ（<https://jifrs.info/>）からダウンロードをお願いします。（8月中旬に掲載します）

詳細なスケジュールや会場情報は、随時ホームページに掲載していきます。

3. 2024年度 JIFRS 大会シンポジウムのテーマ

宮田勉 (水研機構)

《漁業・養殖業の成長産業化と経営イノベーション》

趣旨： 世界の水産物需要は益々高まり、また国内におけるインバウンドによる和食/水産物需要は増加の一途である。いきおい日本の水産物価格は上昇傾向であるが、それ以上に物価上昇による漁業・養殖業の費用は高まり、結果的に経営体の収益は低い。この課題に対応するため、国の政策として持続的な水産業の成長産業化が推し進められている。そのなかで水産物輸出、新しい資源管理、複合的漁業、協業化、経営規模拡大、海業、スマート化などの新しい政策が強調されている。本シンポジウムは、それらの政策の中でも沿岸漁業・養殖業にとって重要な協業化や経営規模拡大、クロマグロの経営イノベーション、加工流通や水産物輸出に関するテーマを中心に、沿岸漁業・養殖業の成長に寄与することを目的に、経営イノベーションの観点から以下の講演者に発表頂く。

13:00 開会あいさつ

婁小波 会長

報告

司会：日高健 (近畿大学)

解題：漁業・養殖業の成長産業化と経営イノベーション

宮田勉 (水産研究・教育機構)

報告1：地まき式ホタテガイ漁業の経営イノベーション

—「共同企業体」と「共同値決め」に着目して—

婁小波 (東京海洋大学)

報告2：カキ養殖における協業化の効果と課題-三重県鳥羽市浦村地区を事例に-

松井隆宏 (東京海洋大学)

報告3：クロマグロ養殖の事業システムとイノベーション

中原尚知 (東京海洋大学)

報告4：ブリ類養殖の現状と成長産業化の方策 (養殖・加工流通・輸出の現実)

有路昌彦 (近畿大学)

総合討論

司会：日高健 (近畿大学)

コメンテーター：竹ノ内徳人 (愛媛大学)、若松宏樹 (農林水産政策研究所)、

原田幸子 (東京海洋大学)

質疑応答

17:45 閉会

4. 2025年度JIFRS大会シンポジウム企画募集

松井隆宏（大会運営委員長・東京海洋大学）

2025年度JIFRS大会のシンポジウム企画を募集します。応募される方は下記の要領にて仮題と概要をお知らせくださいますようお願い致します。皆様からの奮ってのご応募をお待ちしております。

応募内容：仮題および概要（800～1,200字程度）

応募締切：2024年8月9日

連絡先：国際漁業学会事務局（jifrs.kaiyodai@gmail.com）

応募内容をもとに立案した企画は、次号の短信に掲載する予定です。

5. 研究会のご案内

宮田勉（研究企画委員長・水研機構）

魚価が高まる一方で、物価高にともなう費用も高まっており、経営分析の必要性が高まっていることから、漁業・養殖業経営分析に関する研究会を検討しています。詳細は追ってお知らせいたします。話題提供しても良いという方がおられましたら事務局（jifrs.kaiyodai@gmail.com）に連絡頂ければと存じます。

6. 学会賞（国内賞）候補者の推薦依頼

川辺みどり（学会賞選考委員長・東京海洋大学）

2024年度の学会賞候補者の選考を開始します。自薦・他薦を受け付けますので、積極的に推薦してください。推薦の際、歴代受賞者リストも参照ください。

国際漁業学会 学会賞の選考要領は下記の通りです。

授賞の対象は、以下の3種類です。

<功績賞>学会の活動に対して大きな貢献のあった会員。

<学会賞>書籍、もしくは一連のまとまった研究を通して、学術の発展に大きく寄与した会員（個人）。書籍については、2022年7月1日以降の業績が対象です。

<奨励賞>原則として40歳代以下で、本学会誌に掲載された論文、もしくはそれを含む一連の研究を通して、学術の発展に寄与した会員（個人）。本学会誌第21以降巻の掲載論文が対象となります。

募集期間：2024年8月9日締め切り

推薦方法：推薦する対象者、賞のジャンルとその理由（形式自由）を、JIFRS 会長（婁小波 lou(at)kaiyodai.ac.jp）宛てに、Eメールにて送付してください。

選考方法：会員からの推薦をもとに、会長が学会賞選考委員会に諮って候補者を決め、理事会の承認を得て決定します。

賞の授与：2024年度国際漁業学会大会の際におこなう総会にて授与します。受賞候補者には事前にお知らせしますので、ぜひ大会へのご出席をお願いします。

◆学会賞（国内賞）の歴代受賞者リスト

（2023年7月現在）

氏名	受賞時所属・職名	受賞年月日	備考
松田 恵明	鹿児島大学 名誉教授	2011年8月4日	功績賞
真道 重明	-	2012年8月5日	功績賞
八木 信行	東京大学 准教授	2012年8月5日	学会賞
中島 亨	東京大学 特任助教	2012年8月5日	奨励賞
松井 隆宏 原田 幸子	三重大学 准教授 株式会社地域資源経済研究所 研究員	2012年8月5日	奨励賞
榎 彰徳	NPO 法人 消費者支援機構関西 理事長	2013年8月4日	功績賞
有路 昌彦	近畿大学 准教授	2013年8月4日	学会賞
猪又 秀夫	水産庁	2015年8月9日	学会賞
小野 征一郎	東京水産大学 名誉教授	2016年8月7日	功績賞
黒倉 寿	東京大学 名誉教授	2017年8月6日	功績賞
阪井 裕太郎	Arizona State University Post-Doctoral Research Associate	2018年8月7日	奨励賞

森下 丈二	東京海洋大学 教授	2020年8月29日	学会賞
多田 稔	近畿大学 教授	2022年8月28日	功績賞
大石 太郎	東京海洋大学 准教授	2022年8月28日	奨励賞
山田 二久次	三重大学 准教授	2022年8月28日	奨励賞
神山 龍太郎	水産研究・教育機構 水産資源研究所 主任研究員	2022年8月28日	奨励賞

7. 事務局だより

事務局

1) 今後の大会シンポジウムテーマ等について

今後の大会シンポジウムテーマや個別報告の「特別セッション」などにつきまして、企画提案を募っておりますので、ご提案や企画などがございましたら、事務局までご一報いただけますと幸いです。

2) 学会のホームページについて

新ホームページに移行していますが、若干の不具合があるようです。皆様にご迷惑をおかけして申し訳ありません。順次対応して参りますので、お気づきの点がございましたら事務局までお知らせいただけますと幸いです。